

令和元(2019)年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	東北大学		
プログラム名称	変動地球共生学卓越大学院プログラム		
プログラム責任者	山口 昌弘	プログラムコーディネーター	中村 美千彦

〔採択理由〕

本プログラムが対象としているのは、世界各地で頻発する巨大災害や気候変動などを鑑みれば、国際的にも重要かつ我が国の貢献が期待される分野である。

東北大学は、環境地球科学分野における世界トップレベルの研究実績を有し、Top10%論文の割合で最高ランクをマークしており、さらに地球惑星科学分野においては、

「Nature」、「Science」系誌に平成26(2014)年以降44報を出版し、多くの国際賞を受賞する等、世界においてこれらの分野をリードしている。これまで構築されてきた国内外の産学連携のプラットフォームを通じた国際的な研究実績等もあり、研究面における卓越性は高い。とりわけ東日本大震災を契機に災害科学国際研究所を設置し、防災の分野にもシームレスにつながっており、社会的な必要性は間違いなく高い。

また、理学研究科地学専攻・地球物理学専攻は、21世紀COEプログラム、グローバルCOEプログラム、卓越した大学院拠点形成支援補助金の全てに採択されていることから、それらにおいて実践してきた実績とノウハウの蓄積があり、これまでに構築した人材育成のスキームを活用することができる。それに加えて、国際的に卓越したプログラム担当者の水準が教育プログラムにも反映されている。大学院の教育スキームとしては、優秀な学生が経済面で研究に集中できる環境を整えた上で、有能な指導者が穏やかなコントロールの中で指導し、早期に国内外の有能な研究者・大学院生と触れ合うチャンスを与えることで学生に自らの適性を自覚させるという教育を目指している。

本プログラムは、大学全体の大学院改革において中核的に位置付けられており、本プログラムをサポートする仕組みとして、大学院の共通教育プラットフォーム化や、「産学共創人材プラットフォーム」の構築などの取組も進んでいる。学長を含めた役員が先導して大学院改革を進める、本プログラムの着実な実施が望まれる。